

別紙様式 1

令和3年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立埋蔵文化財総合センター	施設所在地	板野郡板野町犬伏字平山 8 6 - 2
指定管理者名	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	指定期間	平成 3 0 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 3 1 日
施設所管課	文化資源活用課	【連絡先】	088-621-3186

1 施設の概要

設置年月日	平成7年4月1日
設置目的	埋蔵文化財を保護し、かつ、その活用を図り、県民文化の向上に資するため、埋蔵文化財保護行政の拠点とする
施設内容	展示室、研修室、実習室、図書閲覧室、西山谷2号墳石室展示施設、弥生の音色広場ほか
利用料金等	無料
開館日・休館日等	休館日：月曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12/28～1/4、特別整理期間（各年1回10日以内）

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	1 徳島県立埋蔵文化財総合センターの設置及び管理に関する条例第2条第3号に掲げる業務のうち、 2 展示資料の供覧に関する業務及び同条第4号に掲げる業務のうち、県が必要と認める業務 3 センターの施設等の維持管理（県が指定する補修等を除く）に関する業務 その他のセンターの管理に関し、県が必要と認める業務
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 2 名 臨時職員 1 名 計 3 名 徳島県立埋蔵文化財総合センターの施設では、展示室、研修室、実習室、図書閲覧室、西山谷 2 号墳石室展示施設、弥生の音色広場等を指定管理の対象としている。 施設管理については、管理者 1 名、事業課の専門研究員 1 名が指定管理業務主任者を兼務し、受付案内に嘱託員 1 名を雇用している。	
------	---	--

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	令和3年度	543	487	649	565	584	461	922	532	361	400	355	531	6,390
	前年度	363	333	830	542	632	490	1056	737	421	529	462	587	6,982
	前々年度	694	1152	978	1106	1143	884	2640	862	544	727	804	789	12,323

[illegible]

施設毎 利用料金収入 (千円)							計
	〇〇年度						
	前年度						
	前々年度						

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		令和3年度	令和2年度(前年度)	令和元年度(前々年度)
収入	指定管理料	15,158	14,907	14,366
	利用料金収入	0	0	0
	事業収入	0	0	0
	その他	149	231	220
	計	15,307	15,138	14,586
支出	人件費	8,906	7,638	7,605
	管理運営費	3,776	3,815	3,571
	事業費	1,233	2,309	2,084
	その他	1,392	1,376	1,326
	計	15,307	15,138	14,586
収支		0	0	0

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	1 企画展の看板、展示解説シートなどを自主制作し、コスト削減に努めている。 2 備品の修理について、可能な限り内部努力で実施することで、コスト削減に努めている。 3 自主事業において、体験学習の材料費や各種講座の資料代を参加者の自己負担としている。
サービス向上の取組	1 考古学専門講座を開催し、生涯学習への意欲を高めている県民のニーズに応じている。 2 理解を深めてもらうため、展示解説パンフレットや解説シートを配布している。 3 歴史文化遺産の保存や活用を題材としたボランティア養成講座を実施している。 4 埋蔵文化財センターボランティア「アワコウコ楽倶楽部」の活動のサポートを行っている。 5 来所者が遺跡や出土品に興味を持ち、より深い知識を得るため、タブレットなどの電子端末機器を利用した情報提供を行っている。 6 特別展示やミニ展示の内容に合わせて、展示物と関連付けたクイズなどを企画し、理解を深めることができるよう工夫している。 7 新型コロナウイルス対策として来所者用消毒液やマスクを常備する等、感染拡大予防対策を行っている。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	レギシルとくしま企画展示 ・アワコウコ楽のいっぴん「徳島の和鏡」展示 4/20(火)～5/23(日) ・埋蔵文化財速報展「2021発掘とくしま」 6/8(火)～7/11(日) ・埋蔵文化財企画展示「美馬・三好地域の遺跡」展 9/7(火)～10/10(日) ・埋蔵文化財企画展示「勝浦川流域の古墳」展 10/26(火)～12/5(日) ・第3回四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「しこくの風土と暮らしー山から四国を眺めてみたー」 1/7(金)～3/13(日) 考古学専門講座・アワコウコ楽公開講座 ・6/20(日)「2021発掘とくしま 調査報告会」 ・7/11(日)「2021発掘とくしま 講演会」 ・10/3(日)「吉野川流域の高地性集落」 ・11/7(日)「勝浦川流域の中期古墳」 ・12/5(日)「勝浦川流域の後期古墳」 ・2/6(日)「しこくの風土と暮らしー山から四国を眺めてみたー」 講演会「四国の山稜・山間に展開した弥生人について」 (※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止) おもしろ古代体験 ・7/4(日)2021発掘とくしま関連「コハク勾玉づくり」 ・7/25(日)「縄文仮面をつくろう！」(土面成形・焼成) ・8/7(日)、8/15(日)「勾玉づくり」 ・8/22(日)「埋文消しゴムづくり」 ・8/23(月)「遺跡を掘ろうー発掘体験！ー」(南蔵本遺跡) ・8/29(日)「鑄造体験 銭をつくろう」 ・10/24(日)「古代体験まつり」 ・3/6(日)「てくてく遺跡ウォーキング4」
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・イベント毎に来館者へのアンケートを実施し、事業企画に反映させるよう努力している。 ・講座や企画展などが地元雑誌やケーブルＴＶに取り上げられるなど、施設のＰＲが浸透しつつある。 ・新型コロナウイルス対策として来所者用消毒液やマスクを常備し、疫病予防対策をしている。 ・施設のキャラクター「やのまる・フンデイ」を活用した取り組みを行い、利用者から好感をもたれている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	S	・収蔵品を生かした企画展や講座などを積極的に実施し、県民の興味、関心に大きく貢献している。 ・「発掘へんろ」は、四国内の埋蔵文化財調査期間が協力して企画展や講演会などを開催するもので、文化財の連携において先駆的な事業として県民からの評価を得ている。 ・ボランティア組織の育成から活動支援までを一体的に実施するため「史跡ウォーキング案内ガイドプロジェクト」「万葉の草花を楽しむプロジェクト」「古代ものづくりプロジェクト」と３コースの事業を実施し、文化財ボランティア養成のための先駆的な取り組みを行っている。 ・「古代体験まつり」の開催において人気企画の「勾玉づくり」や「銭づくり」以外に、低年齢の子どもも体験できる内容（消しゴムづくり等）もあり、多くの方が来館して楽しめる企画を実施している。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・県民利用の設備については、定期的なメンテナンスを実施し、適切に管理している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・体験学習など材料費が伴うものについては、参加者の自己負担としコスト削減を図っている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・セルフモニタリングの結果については、毎月１０日までに報告書を提出している。 ・職員に対し、人権研修やＡＥＤ講習などを実施している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・適切にイベント体験事業を実施するために、利用者サービスに対応できる人員の確保に努めている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・受付案内業務等にシルバー人材センターを活用している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・センターで養成したボランティアが活動できる場の提供をするとともに、自立した組織としての継続した活動の支援を実施している。 ・あすたむらんど徳島との連携が図られている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・危機管理マニュアルを職員全員に配布し、周知に努めている。 ・避難訓練と防火教育の一環として、消防職員による消火訓練及び講話を実施している。 ・職員にＡＥＤ研修を行い、緊急時の対応ができるようにしている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・館内は適温を保てるよう適切な温度管理を行っている。 ・屋外施設へのアクセス通路や施設周辺の清掃や草刈りを職員やボランティア団体と行い、環境美化に努めている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係規定については職員に配布し、周知に努めている。 ・情報公開に関する規定を設け管理体制を整備している。
総合評価	A	・埋蔵文化財の保存、活用を図り、県民文化の向上に資するという徳島県立埋蔵文化財総合センター（レキシルとくしま）の設置目的に沿って、指定管理者業務を適切に遂行している。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

・展示施設、研修室等の指定管理対象施設を拠点とした活動を地元のボランティア団体と連携して行ったり、自立するための支援を行ったりするなど、地域連携が図られているが、埋蔵文化財公開活用の重要性が増す今日、より一層施設の利用促進に有効な手段を考えていく必要がある。

・体験メニューを精査し、天候に左右されないイベントの開催を実施する必要がある。